

訂正とお詫び

本誌のバック・ナンバーにおいて、下記の箇所に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
(編集部)

■ 2007年7月号

● 特集

p.121 左↑1 検出するので、…影響を受けません。→検出し、…影響を受けにくくしています。

p.131 右↓5 1 mm→3 mm, 図4 キャプション (5 mm)→(5.5 mm 以下)

p.153 図1 TEMP(IN)→TEMP(OUT)

p.164 図1 キャプション 比例→反比例, 図2 と図4 が反対, 図4 キャプション 図2→図3

p.177 筆者名 <南館 通>→<南館 通>, 図2 縦軸単位 [mV] 追記, 横軸 1~21→0~20, 単位 [$\times 100$ mA] 追記

p.180 図1 右下の回路図 交点に黒丸追記

● BASICS

p.186 写真2-1 100 V 出力→100 V 入力

p.187 写真2-5 交流 13 V→直流 13 V

p.188 ミニ用語解説⑦位相 次の回→以後の回

p.199 図1 と書いてある→プログラム

p.200 写真2 キャプション 語尾に「付きケーブル」追記

p.202 写真6 キャプション を動かしているところ→トル

● 100 W リニア・アンプの製作

p.218 図2 位相とゲインが反対

p.220 図3(a) (b), 図4 位相とゲインが反対

p.221 写真5 の x 軸左 - 30 dB → - 80 dB